

推薦

人権擁護委員候補者

伊藤 豊 氏 (西保町)
山田善照 氏 (町方町)

を適任としました。

討論

スポーツ施設等の指定管理者の指定

賛成討論

できる限り市民、利用者に負担をかけず、より効果的に効果的に、そして新たな事業展開による利用者の増加に努力する指定管理者団体の考え方も示された。また、管理コスト削減について、随時、調査・検討し、さらなるコスト削減に努めるとともに、利用者に対する利用料の削減にも努めてほしい。

市当局は、指定管理者団体、地域住民、市民の意見を聞きながら、よりよいスポーツ施設運営が行われていくよう、指導を行ってほしい。

反対討論

審議の中で八開庁舎の受付が契約にないなど問題点が既に出ている。指定管理された施設では、営利を追求するあまり十分な体制や点検などを行わずに事故が起きる事例も幾つもある。また、指定管理を行う業者が施設を使って事業を行うことで、住民の利益が制限される問題もある。

市の職員が市民と直接向き合い、意見や要望を受け取る窓口を閉ざすことにもなる。市が市民サービスを考えていく上で大きなマイナスになるのではないかと。

平成21年度一般会計歳入歳出決算の認定

賛成討論

厳しい財政状況の中、勝幡駅周辺市街地整備事業、総合斎苑建設事業、学校給食センター建設事業の進展、佐屋小、永和中など小・中学校の耐震工事、定額給付金給付事業、妊婦健診事業の5回から14回への拡大、市民の安全・安心を確保するための防災対策事業などが実施され、一定の成果を上げている。

市議会定数削減

賛成！反対！

賛成討論

地方分権が叫ばれる今日において、愛西市議会も議会の活性化をより推進するための一環として、議員定数の削減に積極的に取り組むべきと考える。既に議員定数削減を行った自治体から、議員数が減って、住民生活に支障をきたしたとか、チェック機能が低下して無駄遣いが膨らみ、財政状況が悪化したなど聞いたことはない。定数を削減しても市民の負担にこたえることは可能である。

議員定数削減は、議員から見れば狭き門となるが、あえてみずから厳しい選択をすることが、今まで以上に市民や市職員と議員との信頼を深めるきっかけになる。それが議員定数削減の最大の効果である。

反対討論

議会活性化協議会が設置され、これから議員全員で議会についての勉強会を開催することも合意されている。

市民がなぜ議員の定数を減

らせとこののか。600万円の報酬に見合う活動が見えてこないことが理由だ。急いで定数のみ先行して決めるのではなく、議員、議会の役割など、みんなで考える中で決めていくのが筋ではないか。そして、議会が市民からの意見を聞きながら決めていくものだ。

今回の発議には財政的なコストが理由であると書かれているが、議員報酬を見直し、議員のあり方、政務調査費などを一体として考えて初めて行財政改革につながっていく。定数だけ先行して決めることには反対。

